

5/22
朝日



「共謀罪」反対
各地で集会

「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織的犯罪処罰法改正案が衆院法務委員会で可決後、初めての日曜日だった21日、大阪など各地で法案に反対する集会が開かれた。改正案は犯罪を計画段階から処罰する内容で、参加者は自由や人権が制約されると訴えた。

(細川卓撮影) ▶30面＝「あかんやろ」

📺 デジタル版に動画

「共謀罪 あかんやろ」

各地で抗議の集会やデモ

大阪は400人参加

大阪市西区の鞆公園の集
会には約4千人(主催者発

「共謀罪」の趣旨を含む組織的犯罪処罰法改正案が衆院法務
委員会で可決されたことに抗議する集会やデモが21日、大阪、
東京、福岡など各地であった。

▼1面参照

表)が参加。大阪弁護士会
の主催で、それぞれ「共謀
罪あかんやろ」「監視社会
はいやや」などと訴えた。
同会の小原正敏会長は

「市民の自由や人権を大き
く制約するのは明らかで、
どうして受け入れられな
い」と法案を批判。処罰対
象の範囲が明確になってい
ないなどとして、会長経験
者17人が連名で、国会での
十分な審議を求める声明を
出した。山口健一・前会長

は取材に「衆院法務委での
30時間の審議で明らかにな
ったのは、この法の必要性
でなく矛盾だ」と語った。
参加者は集会後、御堂筋
をパレード。「共謀罪廃
案」「強行採決許さん」な
どと声を上げ、歌や楽器で
盛り上げた。ツイッターで

集会を知って参加した大阪
市の30代女性は「共謀罪N
O!」と書いたプラカード
を自分で作った。「共謀罪
法案が成立したら、将来起
きるかもしれない戦争に反
対と声を上げることもでき
なくなりそう」と話した。
(大隈 悠)



自ら描いたプラカードを持参し、集会に
参加した漫画家の西山進さん(21日午後
2時11分、福岡・天神、河合真人撮影)

少年工の戦時中 歌詞で取り調べ

1942年、少年工とし

「権力萎縮させ自由奪った」

被爆者で漫画家の西山進
さん(89)は福岡市南区に
21日、漫画入りのプラカ
ードを手に、福岡市・天神の
公園で開かれた集会に駆け
つけた。「共謀罪と戦前・
戦中の治安維持法の類似点
について登壇者が口々に指
摘するのを聞きながら「あ
の時代の息苦しさは、体験
した者こそが知っている。
それを若い人たちに伝えな
いと」。10代の苦い記憶を思
い出していた。

隣の部屋からは何かが激し
くぶつかる音や悲鳴が聞こ
えた。怖くなった西山さん
は、刑事に迎合して「国の
ために一生懸命働きます
と誓った。「今も悔しくて
情けない。でも10代の子ど
もにはそうするしかなかっ
た。権力が子どもをざれ歌
にまで目を光らせ、萎縮さ
せて自由を奪ったのです」
45年8月、長崎に原爆が
投下された。西山さんは救
援のために爆心地付近を歩
いて縦断した。戦後は福岡
県・筑豊の炭鉱で働いた。
50年に朝鮮戦争が起ると、
「戦争は、もうゴメン
だ」と漫画入りの壁新聞を
作り、炭鉱住宅に貼って回
った。今も核廃絶や脱原
発、安保法制反対を訴える
ポスターや横断幕を描き、
市民運動に協力している。

て長崎市の三菱重工業長崎
造船所に入った。広大な敷
地の一角では、軍艦を建造
していた。誰もが知ってい
たが、軍事機密のため話題
にするのを避けた。
きつい仕事、軍隊のよう
な上下関係、食糧不足のひ
もじさ……。つらい日々を
せめて笑って紛らわそう
と、ざれ歌をつくり、ノー
トに書きとめた。今では詳
しく思い出せないほど、た
わいのない歌詞だった。

とろろが、工場で仕事
に寮の私物を会社が調べ、
ノートと歌を警察に報告。
「戦時体制への批判だ」と
して、西山さんは警察に呼
び出された。「今で言え
ば、SNSの書き込みがチ
ェックされるようなもので
はないでしょうか」
取調室で刑事から「どう
してこんな歌を書いたの
か」「戦争についてどう思
うか」と問いただされた。

「共謀罪」法案に反対する集会に集
まった大勢の市民(21日午後、大阪
市西区、本社ヘリから、加藤諒撮影)

政治維持法は敗戦によっ
て廃止された。「戦争で多
くの犠牲を払い、やっと手
にした自由。戦争を知る世
代として、被爆者として、
再び奪われたくはありません」
(佐々木 亮)



「共謀罪」法案に反対する集会に集
まった大勢の市民(21日午後、大阪
市西区、本社ヘリから、加藤諒撮影)